

様式 1 （主な取組）

「主な取組」 検証票

施策展開	5-(4)-イ	持続可能な地域づくりを担う人材の育成・確保	施 策	②持続的な環境保全活動を担うボランティアの育成
			施策の小項目名	○環境保全活動団体の育成と連携・支援
主な取組	赤土等流出防止活動促進事業		対応する成果指標	環境活動を実践するNPO・ボランティア団体数
施策の方向	・海洋ごみや外来種対策など、地域が抱える環境問題に対し、市町村等との地域連携・協働により問題解決を促すコーディネーターとなる団体・組織等の育成と連携・支援に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R7	R8	R9
赤土等流出防止に向けた地域住民の主体的な取組を推進するため、地域団体やNPO等の活動を支援する。	県	赤土等流出防止活動への支援		
		赤土等流出防止活動への支援団体数(累計)		
		4団体	4団体(8団体)	—
担当部課【連絡先】	環境部環境保全課		【 098-866-2236 】	関連URL
				—

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

赤土等流出防止総合対策事業

主な財源

実施方法

R6年度
決算額

R7年度
決算見込額

一括交付金
(ソフト)

補助

160, 425

165, 200

令和7年度活動内容

赤土等流出防止に取り組む団体の活動に対し補助金を交付した。

予算事業名

赤土等流出防止総合対策事業

R8年度

主な財源

実施方法

当初予算額

一括交付金
(ソフト)

補助

247, 225

令和8年度活動計画

赤土等流出防止に取り組む団体の活動に対し補助金を交付する。

活動指標名

赤土等流出防止活動への支援団体数 (累計)

R7年度

進捗状況

活動概要

実績値

R5年度

R6年度

実績値 (A)

目標値 (B)

達成割合
A/B

—

—

4団体

4 団体

100. 0%

順調

赤土等流出防止対策に取り組む 4 団体の活動に対して補助金を交付した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

赤土等流出防止対策に取り組む 4 団体の活動に対して補助金を交付した。補助金の交付により地域と協働したグリーンベルトの植栽活動等の流出防止対策、赤土等流出対策の啓発活動及び地域の赤土等流出に資する調査が行われ、当該地域における流出防止対策が図られた。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和7年度の取組改善案

反映状況

○赤土等流出防止対策に係るこれまでの団体等の活動実績や、補助金事業に係る情報を県HPに掲載し、広く周知を図る。

○赤土等流出防止対策に係るこれまでの団体等の活動実績や、補助金事業に係る情報を県HPに掲載し、広く周知を図った。

様式 1 （主な取組）



様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他内部要因 （改善余地の検証等）	地域住民の主体的な赤土対策の推進を図るためには、地域ぐるみの普及啓発活動や対策活動が不可欠であり、取組団体等が地域とともに実施する活動の充実により効果的な補助金の活用を図る必要がある。	⑤ 情報発信等の強化・改善	取組団体等により効果的な補助金の活用を図るため、1団体あたりの補助額の上限を引き上げ、団体が行う取組内容の充実を図る。

様式 1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	5-(4)-イ	持続可能な地域づくりを担う人材の育成・確保	施 策	②持続的な環境保全活動を担うボランティアの育成
			施策の小項目名	○環境保全活動団体の育成と連携・支援
主な取組	環境保全啓発事業（出前講座等による環境保全活動の促進）		対応する成果指標	環境活動を実践するNPO・ボランティア団体数
施策の方向	・海洋ごみや外来種対策など、地域が抱える環境問題に対し、市町村等との地域連携・協働により問題解決を促すコーディネーターとなる団体・組織等の育成と連携・支援に取り組めます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R7	R8	R9
本県の環境教育の拠点である「沖縄県地域環境センター」において、県民の環境保全意識の向上を図るための環境情報の発信や各種環境保全啓発活動を実施する。	県	沖縄県地域環境センターによる環境保全普及啓発活動の実施		
		出前講座等の活動回数(累計)		
		72回	74回(146回)	76回(222回)
担当部課【連絡先】	環境部環境再生課		【 098-866-2064 】	関連URL https://kankyo-center.okinawa/

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

地域環境センター等管理運営等事業費

主な財源

実施方法

R6年度
決算額

R7年度
決算見込額

県単等

委託

18,116

18,590

令和7年度活動内容

沖縄県地域環境センターにおいて環境情報の発信や各種環境保全啓発活動を実施した。

予算事業名

地域環境センター等管理運営等事業費

R8年度

主な財源

実施方法

当初予算額

県単等

委託

18,597

令和8年度活動計画

沖縄県地域環境センターにおいて環境情報の発信や各種環境保全啓発活動を実施する。

活動指標名

出前講座等の活動回数（累計）

R7年度

進捗状況

活動概要

実績値

R5年度

R6年度

実績値 (A)

目標値 (B)

達成割合
A/B

—

—

71回

72回

98.6%

順調

沖縄県地域環境センターにおいて、県内全域を対象に学校や地域等での出前講座や自然観察会、啓発イベント等の環境保全啓発活動を年間を通して実施した。また、センターのHPや情報誌で環境情報を発信した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

沖縄県地域環境センターにおいて出前講座や自然観察会、啓発イベント等の各種啓発活動を71回開催し、環境学習・体験活動の機会を提供した。また、HPや情報誌等で環境教育プログラムの活用例の紹介、体験活動・体験イベント参加の呼びかけ、こどもエコクラブの活動の紹介を行うなど、環境情報を発信したことから順調と判定した。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和7年度の取組改善案

反映状況

○対象者のニーズや満足度等を把握するため、アンケート調査等を行い、各種啓発活動の向上につなげる。
○リモートやオンラインによる啓発活動の体制を継続するとともに、対象者のニーズや社会情勢を踏まえて啓発活動を展開する。

・出前講座終了後に、アンケート調査等を実施し、その回答を踏まえ環境普及啓発活動の向上を図った。
・効果的な啓発活動とするため、環境教育プログラム集を活用した講座のほか、学校機関等の要望を事前に取り入れた上で、目的に沿った出前講座を開催した。

様式 1 （主な取組）



様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制（内部要因）	地域や学校等に対する環境教育の推進のため、沖縄県地域環境センターを中核とした環境保全啓発活動を継続して実施する必要がある。	① 執行体制の改善	各種活動の参加者の意見や満足度等を把握するため、活動の実施後アンケート調査等を行い、各種啓発活動の向上につなげる。

様式 1 （主な取組）

「主な取組」 検証票

施策展開	5-(4)-イ	持続可能な地域づくりを担う人材の育成・確保	施 策	②持続的な環境保全活動を担うボランティアの育成
			施策の小項目名	○環境保全活動団体の育成と連携・支援
主な取組	県民参加型外来種防除の実施		対応する成果指標	環境活動を実践するNPO・ボランティア団体数
施策の方向	・海洋ごみや外来種対策など、地域が抱える環境問題に対し、市町村等との地域連携・協働により問題解決を促すコーディネーターとなる団体・組織等の育成と連携・支援に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R7	R8	R9
県民の外来種対策への参画を促進するため、県民参加型の外来種防除イベント等を開催する。	県	ツルヒヨドリ等外来種防除イベントの実施		
		外来種防除イベントの実施回数(累計)		
		3回	3回(6回)	3回(9回)
担当部課【連絡先】	環境部自然保護課		【 098-866-2243 】	関連URL
				—

様式 1（主な取組）

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

外来種対策事業

主な財源

実施方法

R6年度
決算額

R7年度
決算見込額

一括交付金
(ソフト)

委託

424, 608

351, 721

令和7年度活動内容

外来植物繁茂地域において、外来植物駆除イベントを開催した。また、グリーンアノール防除イベントを3回開催した。

予算事業名

外来種対策事業

R8年度

主な財源

実施方法

当初予算額

一括交付金
(ソフト)

委託

379, 670

令和8年度活動計画

外来植物駆除イベントを開催する。また、グリーンアノール防除イベントを2回開催する。

活動指標名

外来種防除イベントの実施回数
(累計)

R7年度

実績値 (A)

目標値 (B)

達成割合
A/B

進捗状況

活動概要

実績値

R5年度

R6年度

4回

3回

100.0%

順調

外来植物防除イベント1回に43名、グリーンアノール防除イベント3回に315名の参加があった。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

目標値3回に対して実績値4回であり、目標を達成したことから取組は順調に進捗している。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和7年度の取組改善案

反映状況

防除イベントにおいて外来種と在来種の特徴等に関する教育を実施するとともに、防除の表彰制度を取り入れ、より効率的な実施を図るなど、多様なイベントの開催や効果的な情報発信を行っていく。

より多くの参加者を集めるため、地元行政や地域等関係機関へ周知を図った。効果的な発信方法については、YouTubeチャンネルに外来種問題や外来種捕獲方法の動画を展開するとともに、事業で構築したウェブサイト「沖縄外来種. com」を用いた。

様式 1（主な取組）



様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他内部要因 （改善余地の検証等）	多くの県民が本県の豊かな生物多様性を認識し、外来種対策の必要性について理解を深め、県民一丸となった取組に繋がっていくため、県民参加型の取組を充実させる必要がある。	④ 創意工夫による取組の改善（合理化・効率化）	防除イベントにおいて外来種と在来種の特徴等に関する教育を実施するとともに、防除の表彰制度を取り入れ、インセンティブを設けるなど、多様なイベントの開催や効果的な情報発信を行っていく。
⑤ 県民ニーズの変化 （外部環境の変化）	外来種対策意識の高い一般県民から、外来種を見つけた、外来種を捕獲した等の問い合わせが年間数十件ある。	⑤ 情報発信等の強化・改善	特設サイト「外来種.com」で、よくあるお問い合わせを充実するなど、普及啓発の取組を引き続き行っていく。

様式 1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	5-(4)-イ	持続可能な地域づくりを担う人材の育成・確保	施 策	②持続的な環境保全活動を担うボランティアの育成
			施策の小項目名	○ボランティア活動のマッチング
主な取組	環境保全啓発事業（環境ボランティアマッチングの促進）		対応する成果指標	環境活動を実践するNPO・ボランティア団体数
施策の方向	・ 地域課題に対するニーズとボランティアとのマッチングを行う環境ボランティアセンターの設置に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R7	R8	R9
本県の環境教育の拠点である「沖縄県地域環境センター」のホームページ上で、環境保全活動を希望するボランティアと地域のニーズ(各種団体等の要望)をマッチングすることで、県民の環境保全活動への参画を促進する。	県	地域課題ニーズとボランティアのマッチングに係る実施状況を踏まえた環境ボランティアセンターの設置の検討		
		ボランティアマッチングの実施件数(累計)		
		20件	25件(45件)	30件(75件)
担当部課【連絡先】	環境部環境再生課	【 098-866-2064 】	関連URL	https://kankyo-center.okinawa/

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況（Do）						
(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名 地域環境センター等管理運営等事業費				予算事業名 地域環境センター等管理運営等事業費		
主な財源	実施方法	R6年度 決算額	R7年度 決算見込額	R8年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	委託	18,116	18,590	県単等	委託	18,597
令和7年度活動内容				令和8年度活動計画		
沖縄県地域環境センターのホームページ上で、環境保全活動団体等の情報発信を実施し、県民の環境保全活動への参画を促進した。				沖縄県地域環境センターのホームページ上で、環境保全活動団体等の情報発信を実施し、県民の環境保全活動への参画を促進する。		
活動指標名	ボランティアマッチングの実施 件数（累計）		R7年度			活動概要
実績値	R5年度	R6年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B	
	—	—	22件	20件	100.0%	沖縄県地域環境センターのホームページ上で、環境保全活動を希望するボランティアと地域のニーズ（各種団体等の要望）をマッチングするため、年間を通して、環境保全活動団体の活動情報等を発信した。

様式1（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
沖縄県地域環境センターのホームページ上で環境保全活動団体の活動情報等を発信したところ、450件の閲覧数があった。 閲覧数の5%について、環境保全活動を希望するボランティアと環境保全活動団体をマッチングできたとし、目標値20件に対し実績22件で進捗状況は順調であると判断した。 今後も継続して環境保全活動団体のマッチングのための情報発信を行う。	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和7年度の取組改善案	反映状況
○沖縄県地域環境センターのホームページを活用した情報発信を継続して行うとともに、対象者のニーズに合ったマッチングを展開した。	沖縄県地域環境センターのホームページを活用した情報発信を年間を通して実施し、対象者のニーズに合ったマッチングにつながるよう取り組んだ。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制 (内部要因)	環境保全活動団体の活動情報等を発信し、県民の活動の輪を広げるため、沖縄県地域環境センターを中核とした事業を継続して実施する必要がある。	② 連携の強化・改善	沖縄県地域環境センターのホームページを活用して環境保全活動団体の情報発信を行うことで、対象者のニーズに合ったマッチングにつなげる。